

‘24 1/25 (木)

ステキなひとときでした



本校の学校運営委員であり民生児童委員でもある児玉 隆一さんが、今日、4年生の音楽の授業でチェロの演奏を披露してくださいました。児玉さんは学生の頃にチェロの演奏を始め、今も趣味として演奏を続けているのだそうです。音楽科である本校の山口教頭が会合で行き会ったときに、音楽にかかわる会話からチェロの演奏の話に発展し、今回のアンサンブルの話がまとまったのでした。

児玉さんはにこやかに子どもたちの前に立つと、まずは山口教頭のピアノ伴奏に合わせてサン＝サーンスの『白鳥』を弾いてくださいました。

次にバッハ『無伴奏チェロ組曲 第1番～プレリュード』のさわりを演奏しながらチェロの紹介をし、子どもたちの質問に答えてくださいました。

子ども「どうしてチェロを弾こうと思ったんですか？」

児玉さん「チェロは人の声の音域に一番近い楽器で、この音色が好きだからですね。」

子ども「チェロはいくらですか？」

児玉さん（笑いながら、指で3を出して）

「3円か30円か300円か3000円か…。皆さんの想像にお任せします。」

子ども「弾くのは難しいですか？」

児玉さん「フレットがなくて、自分でドレミファソラシドを覚えなきゃいけないから、難しいですね。」



その後、希望者にチェロを弾かせてくださり、最後にアンコールで『見上げてごらん夜の星を』を演奏してくださいました。

児玉さんは、終始とても嬉しそうでした。子どもたちも目の前で見るチェロの演奏に興味津々で、とても嬉しそうでした。

とてもステキなひとときでした。そして、こんなWin-Winの活動こそが、コミュニティスクールの理想の姿なんだろうなあと感じたのでした。

